

FPも顧客もお金持ちにする！？

「行動経済学入門」カンタンレビュー

行列FP 林健太郎

林FP事務所

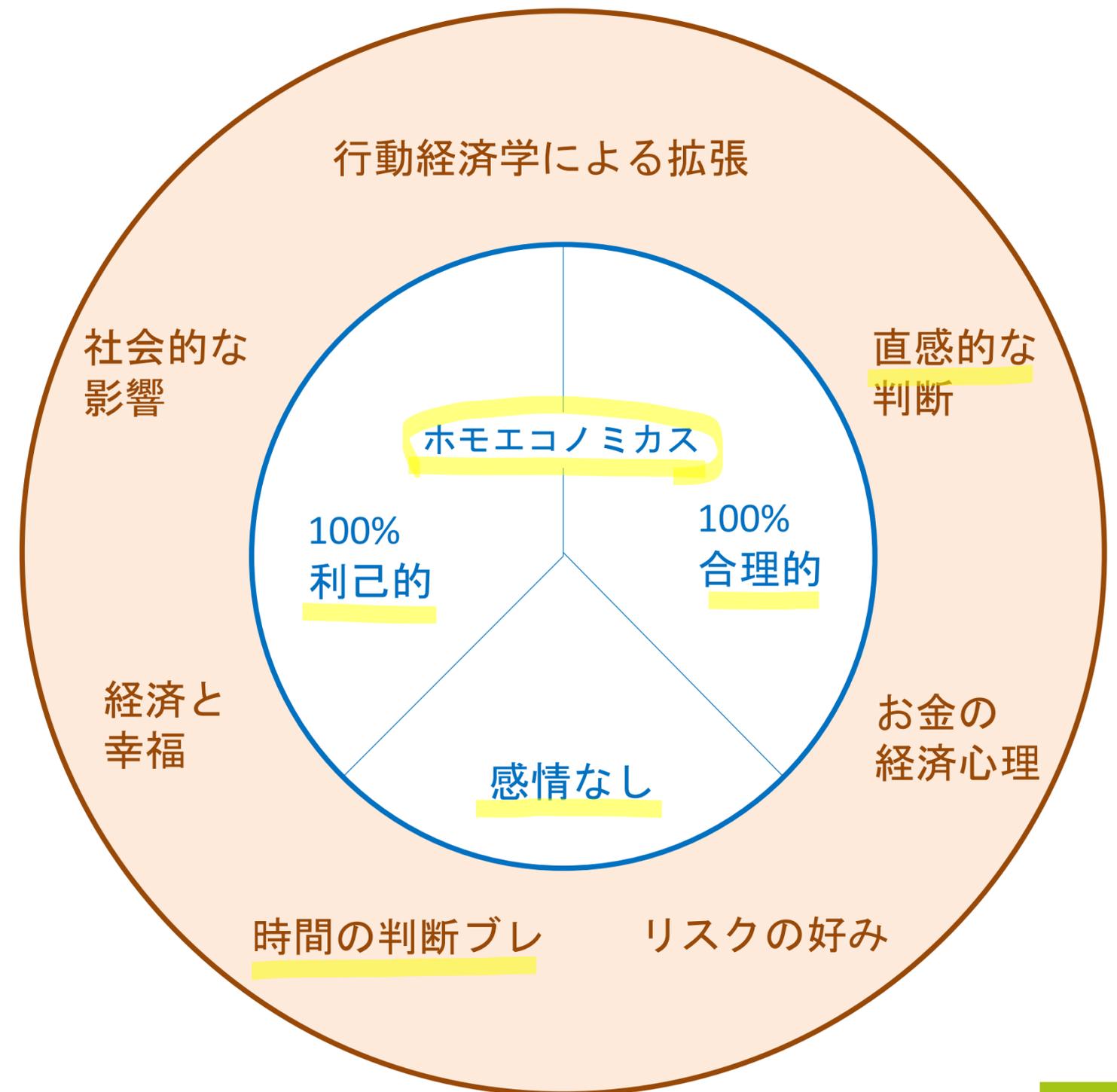
行動経済学の全体像を理解しよう

■ 上位分野の「(古典的な) 経済学」が想定する人物像に対して...

- 経済学は全ての人々がホモエコノミカス (完璧、完全合理的な人物) と仮定
- 実際にはそのようなことはあり得ない

■ 行動経済学はホモエコノミカスを拡張し、より実際の人に近い行動特性を探る

- 直感的な判断、時間による判断のブレ、リスクの好み、社会的な影響、お金の経済心理、経済と幸福など。
- 完全ではなく、不完全 (限定的に完全)



事例1) 「心の会計（メンタルアカウンティング）」

- (シナリオA) 当日券が50ドルのコンサート会場でチケットを買おうとしたところ、50ドル札を失くしていたことに気づいた。50ドル出して当日券を買うか？
- (シナリオB) 前売り券を50ドルで買ってコンサートに行ったところ、このチケットを失くしたことに気づいた。当日券も50ドルで買えるが、買うか？
 - 行動経済学 経済は「感情」で動いている（友野典男）P196より
- トヴェルスキーとカーネマンの実験結果
 - 意思決定時点で、どちらも全く同じ状況
 - Aで「はい」と答えた人は88%、でBは46%。なんとBはAの半分近くになってしまう
 - Bは心の会計のうち「交遊費」を既に支出したと認識して、それ以上の支出ができなかったのだろう。
 - 意思決定に、合理性とは関係ない要因が入ってくる。FPも顧客も注意が必要。

事例2) ESG投資と「戦略的互酬性」や「時間選好」

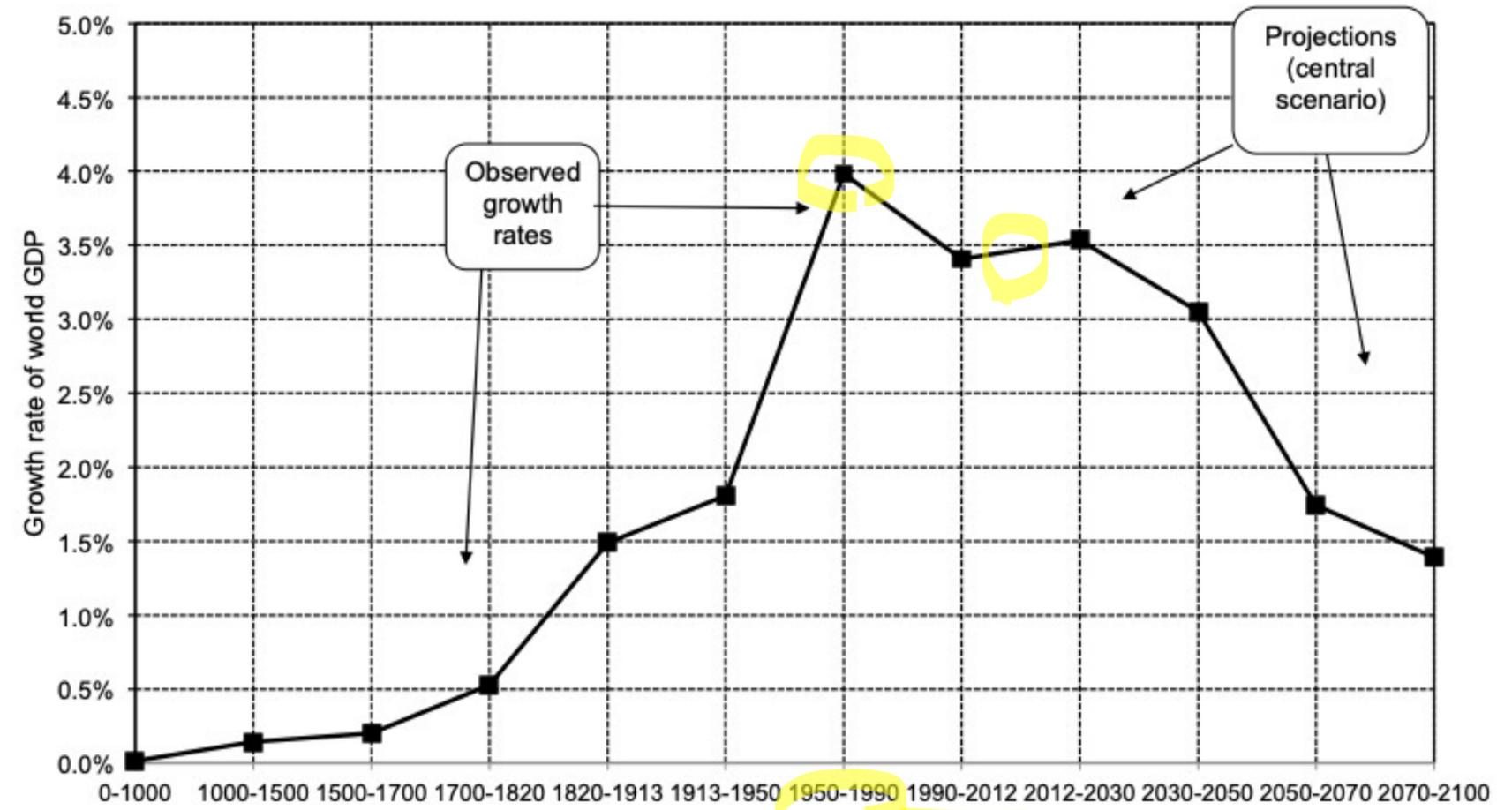
■ ESG投資が世界的に膨らんでいる

- 2020年時点で35兆ドル（約3900兆円）
- 戦略的互酬性で一部説明可能？
- 戦略的互酬性とは相手が利益を返してくれることを期待してこちらから投資をする行為

■ 世界成長の長期トレンドともマッチ？

- 世界の成長は今後低下する→期待利回りが低下する→割引率が低下する→より長期間待つことの価値が増えていく→ESG投資に有利な環境（合理的判断）
- 一方トレンドは1990年代から始まっている。時間選好により、ESG投資の重要性の認知は遅れた？
- 時間選好は人が待つ感じ方で、双曲割引なら先延ばしタイプ

Figure 2.5. The growth rate of world output from Antiquity until 2100



The growth rate of world output surpassed 4% from 1950 to 1990. If the convergence process goes on it will drop below 2% by 2050. Sources and series: see piketty.pse.ens.fr/capital21c.

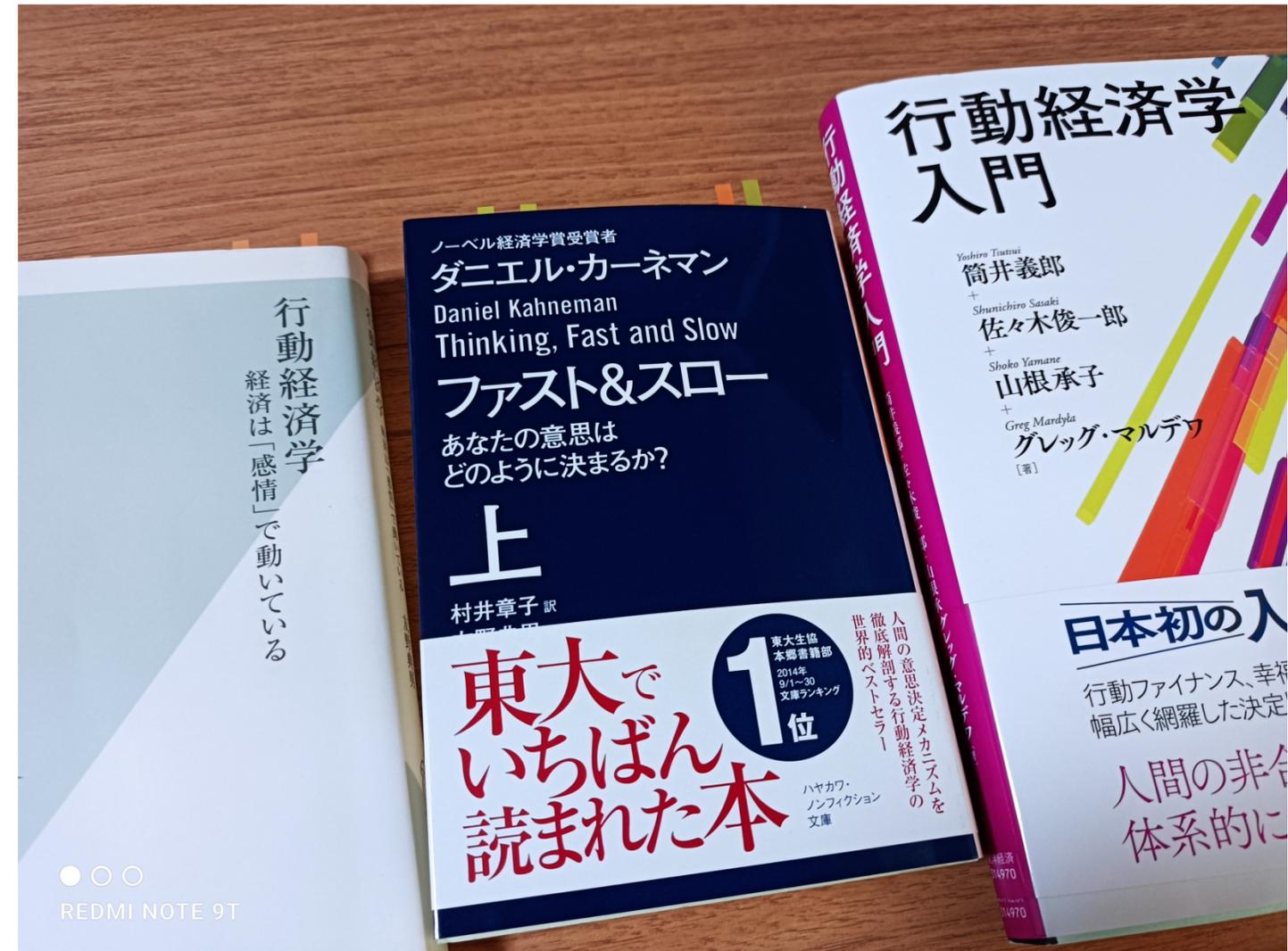
2100年までの世界GDP成長率の予測（出所:「21世紀の資本」図2.5、トマ・ピケティ。図はピケティのHPより引用）

行動経済学 簡易レビュー まとめ

1. 行動経済学の全体像
2. 事例で理解を深めた
 - 事例1) メンタルアカウンティング
 - 事例2) ESG投資
3. 詳細欄・レジメに参考テキスト添付

今回参考にしたテキスト

- 「行動経済学入門」 筒井義郎, 佐々木俊一郎, 山根承子, グレッグ・マルデワ (東洋経済新報社)
 - 初心者向けの教科書としてお勧め
 - <https://amzn.to/3cAqsvV>
- 「行動経済学 経済は「感情」で動いている」 友野典男 (光文社新書)
 - こちらも教科書として使えるが、確率の話、専門用語が多め
 - <https://amzn.to/3qZWXvU>
- 「ファスト&スロー (上下)」 ダニエル・カーネマン (早川書房)
 - ノーベル経済学賞受賞者による著書。文庫が安価なので持っておいて損はない。
 - <https://amzn.to/3FyeJKI>



無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所